

国語科指導案

1 単元名

那須与一の本心に迫る!～人物像や描写を手掛かりに物語を解釈する～

2 単元の目標

(1)現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知らることができる。 [知識及び技能](3)イ

(2)登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈することができる。

[思考力,判断力,表現力等]C(1)イ

(3)言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力,人間性等」

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
①現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ	①目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして内容を解釈している。(C(1)イ)	①時代背景と関連させながら、粘り強く登場人物の言動の意味を考え、学習課題に沿って考えたことを伝えようとしている。

4 単元について

(1)単元を貫く言語活動と扱う教材

本単元では、時代背景や登場人物に関する情報、教科書本文の描写を根拠にして、登場人物の心情を考え、伝え合うという言語活動を行う。考えた内容をもとに少人数班で意見交換をし、他者との意見を比べることでさらに読みを深めたい。これは中学校学習指導要領解説国語編(平成29年告示、以下「指導要領」)第2学年「C読むこと」の言語活動例イで示されている「詩歌や物語などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。」の指導事項を踏まえている。登場人物の心情を捉えるためには、その人物の言動から考えることが不可欠である。また、本文から読み取れる内容以外の情報を適切に調べ、読みに生かすことで様々な情報を取捨選択しながら読み取っていく力も必要であると考えられる。

教材として扱う『平家物語』は、平家一門の盛衰を語る軍記物語である。また、琵琶法師による「平曲」として親しまれてきた作品でもあり、音声言語として音楽的な効果ももっている。平家一門を中心に語られるこの物語は、合戦という歴史的な出来事だけでなく、多くの登場人物の細かい描写によって様々な人間像が描かれている点も魅力の一つであると考えられる。

本作品は現代においても多くの人々に親しまれており、文学としてだけでなく、様々なメディアを通して世に知られている。また、2022年にはドラマ、アニメが公開されるなど、近年社会的にも非常に注目されている古典文学作品といえる。

『平家物語』の数ある場面の中でも、今回扱う「扇の的」の場面は、沖にいる平家と陸にいる源氏が対峙する

緊迫した場面であり、様々な人間模様が渦巻く様子が描かれている。その中でも、源氏の大将義経から扇を射落とすよう命じられた与一の覚悟を決める様子は、対句表現や擬音語、係り結び等の表現技法を多く駆使して描かれている。本単元ではまず、音読を通してこれらの表現に気付くことができるよう指導していきたい。作品の多くの表現の特徴に気付き読みを深めることで、与一や「あ、射たり。」「情けなし。」と言った者たち、登場人物の心情を考えることに役立てられるのではないかと考える。

(2) 単元で身につけさせたい力

本単元では、時代背景や教科書本文の内容、登場人物に関する情報を根拠にして、登場人物の心情を考え、伝え合うという言語活動を通して、〔思考力、判断力、表現力等〕「C 読むこと」の指導事項「イ目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして内容を解釈すること。」の育成を目指すものである。本単元では、「扇の的」の場面での登場人物である那須与一の心情に焦点を当て、「御定ぞ、つかまつれ。」と言われた後の心情について考えさせる。本文最後にも「あ、射たり。」「情けなし。」とあるように、年五十ばかりなる男を射ることに対して、肯定的または否定的な心情であると考えられる。それを踏まえ、本文に描かれた場面の状況や登場人物の関係性、与一の言動の意味などについて考えることで、文章の内容理解がより深まると考える。

4 指導と評価の計画(5 時間)

時 帯	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
	○「扇の的」本文の音読をペアで行う。		
1	○「扇の的—『平家物語』から」本文を通読する。 ○『平家物語』の概要を知る。 ○『平家物語』冒頭文を読み取る。		
2 3	○「扇の的」の場面に登場する人物の人物像を読み取る。 ○まとめた人物像を手掛かりに、扇の的の場面の状況を整理する。	〔知識・技能〕	Jamboard①
4	○「あ、射たり。」と言った人・「情けなし。」と言った者はどのような立場だったのかをそれぞれ考える。 ○「年五十ばかりなる男」を射る場面の与一はどのような心情であるのか、根拠をもとに考える。	〔思考・判断・表現〕 〔主体的に取り組む態度〕	Jamboard②
5	○前時で考えた内容を共有する。 ○現代語訳から読み取れる登場人物の言動や、前時の話し合いを通して考えたことと、物語のつながりについて考える。	〔思考・判断・表現〕 〔主体的に取り組む態度〕	観察 ワークシート①
6	○「弓流し」「敦盛の最期」などの「扇の的」以外の場面を知り、物語で通じている人々の思いについて考える。	〔主体的に取り組む態度〕	ワークシート②

5 単元の流れ

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	<p>○「扇の的一『平家物語』から」本文を通読する。</p> <p>○『平家物語』の概要を知る。</p> <p>○『平家物語』冒頭文の内容を理解する。</p>	<p>・範読CDを聞きながら、読み方の確認をするよう指示する。</p> <p>・作品に描かれる、武士が社会の中心となっていく時代背景や、琵琶法師によって語り継がれている作品であるといった、『平家物語』ならではの特徴を確認する。</p> <p>・現代語訳を手掛かりに内容を捉えられるよう促すとともに、冒頭文が物語全体で描かれる平家一門の興亡を表していることを助言する。</p>	
2 3	<p>○『扇の的一』場面での登場人物を整理し、それぞれの人物像を考える。</p> <p>○まとめた人間関係・人物像を手掛かりに、扇の的一の場面の状況を整理する。</p>	<p>・登場人物を源氏方・平家方を整理させ、それぞれの身分や軍での立場、関係性など本文の描写から読み取ること、その内容を手掛かりにギガタブで調べることの二点を指示する。</p> <p>登場人物</p> <p>「平家」：年若い女房・年五十ばかりなる男</p> <p>「源氏」：源頼朝・木曾義仲・源義経・那須与一・伊勢三郎義盛</p> <p>「その他」：「あ、射たり。」と言う人・「情けなし。」と言う者</p> <p>・登場人物の発言や状況に注目させ、その意味を調べながら考えさせる。</p> <p>・調べた情報を基にしなが、登場人物同士の関係性にも注目するよう助言する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【知識・技能】</p> <p><u>Jamboard①</u></p> <p>・現代語訳や語注などを手掛かりに本文に描写されていることを整理しているか。</p> </div>
4	<p>○「あ、射たり。」と言った人・「情けなし。」と言った者はどのような立場だったのかをそれぞれ考える。</p> <p>○「年五十ばかりなる男」を射る場面の与一はどのような心情であるのかを根拠をもとに考え、Jamboard②にまとめ、提</p>	<p>・扇の的一前半部分で与一は神々に祈念しているのに対し、後半「年五十ばかりなる男」を射る場面ではどのような心情でいるのかを考えさせる。</p> <p>・「矢を射る」ことに肯定的であったか、否定的であったかの二分になっていることを確認し、それぞれの軍の状況などを踏まえて考えるように助言する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思考・判断・表現】</p> <p><u>Jamboard②</u></p> <p>・Jamboard①を踏まえ、「与一」の言動から心情を考えているか。</p> </div>

	<p>出する。</p>	<p>・前時で調べたことを根拠にして、自分の考えをまとめられるように Jamboard①を活用する。</p>	<p>【主体的に取り組む態度】 観察 ・粘り強く「与一」の言動の意味を考えているか。</p>
5 (本時)	<p>○前時で考えた与一の心情とその理由を共有する。</p> <p>○自分と他者の考えを比較し、気づいたことや考えたことをまとめる。</p> <p>○まとめた内容をもとに、班で話し合いをする。</p>	<p>・前時で提出された Jamboard②を全員分見られるよう資料としてまとめ、Classroom で配付する。</p> <p>・他の人の考えを見て、新たに気付いたことや考えたことがあればメモをとるように助言をする。</p>	<p>【思考・判断・表現】 Jamboard② ・Jamboard①を踏まえ、「与一」の言動から心情を考えているか。</p> <p>【主体的に取り組む態度】 観察・ワークシート ・他の場面と扇の的を比較し、学習課題に沿って考えたことを伝えようとしているか。</p>
6	<p>○義経の「弓流し」の内容を確認する。</p> <p>○「敦盛の最期」の内容を確認する。</p> <p>○「扇の的」(与一の心情)「弓流し」「敦盛の最後」の場面で共通している人々の思いについて考える。</p>	<p>・NHKforSchool にて「敦盛の最後」の動画を見る。</p> <p>・教科書(P284～288)に「敦盛の最後」が掲載されていることを確認する。</p>	<p>【主体的に取り組む態度】 観察・ワークシート ・他の場面と扇の的を比較し、学習課題に沿って考えたことを伝えようとしているか。</p>

6 本時の指導

(1) 目標

- ・ 与一の心情についての考えを伝えたり、他者の考えを聞いたりすることで、内容の解釈を深めることができる。
【思考力・判断力・表現力等】
- ・ 積極的に級友と意見交換を行い、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりしている。
【学びに向かう力、人間性等】

(2) 本時の展開(5/6)

時間	学習活動	指導上の留意点	評価基準・評価方法等
5	帯・「扇の的」場面をペアで音読する。		
5	・Jamboard②が Classroom で共有されていることを確認し、本時の学習の見通しをもつ。	○前時の学習で考えた内容を、Jamboard で確認し、共通する考えや相違点について考えることを伝える。 ○本時のワークシートのまとめ方について説明する。	
他者の意見を見て、様々な考え方を知ろう。			
20	・前時でまとめた他者の Jamboard②を確認する。 ・他者の意見から気付いたことや疑問に思ったことなどをワークシートにまとめる。	○事前にそれぞれの Jamboard①・②を閲覧できるよう Classroom で共有しておく。 ○「あ、射たり」のような肯定的な考えと「情けなし」のような否定的な考えを整理しながらワークシートにまとめるよう指示する。 ○自分の考えと比較しながら、Jamboard を見るよう指示する。 【考えが共通していた場合】 注目し、根拠とした情報や描写まで同じであるのか。 【考えが異なっていた場合】 なぜ・どのような部分が異なったのか。 などをまとめるよう助言する。	◆自分の意見を時代背景や人物像と関連付けながら、考えた登場人物の言動の意味を伝えようとしている。 (観察) (ワークシート) 【主体的に取り組む態度】
15	・班で、自分が新たに気付いたことや、疑問に思うことなどを発表する。 ・それぞれの意見(肯定的・否定的・どちらでもない)の特徴を班で分析する。	○話し合いが進まない班には、根拠としている情報はどのような思い(武士としてのプライド・人情・神仏への信仰など)に重きを置いているのかなどについて考えるとよいことを助言する。	◆班員の意見を聞き、自分の考えと比較しながら、心情の読み取りを深めている。 (観察) (ワークシート) 【思考力・判断力・表現力等】
5	・班で考えた内容を全体で共有する。	○いくつかの班を指名し、どのような特徴に気付いたかを発表させる。	

(3)評価

- ・ 与一の心情についての考えを伝えたり、他者の考えを聞いたりすることで、内容の解釈を深めている。

【思考力・判断力・表現力等】

- ・ 積極的に級友と意見交換を行い、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】